

年 月 日

1	事業名	事業のテーマを表した名称
2	事業対象となる地区	課題解決に取り組む地域・活動拠点
3	補助申請団体	団体名・団体の概要
4	団体の類型	☐ 地域密着型 ・ ☐ テーマ型
5	事業の期間	補助事業の開始年月～終了年月
6	地区の現状と課題 ○地域の現状、地域の将来像、地域の課題 ○地域住民との話し合いや聞き取り、アンケートなど地域の現状、将来像、課題を把握した方法 ※図や数値なども用いながら説明をお願いします。	
7	取組内容 いずれかにチェック ☐ （１） コミュニティビジネスの創出を目指し、コミュニティビジネスの手法で取り組む、中山間・周辺地域の地域資源を活用した商品・サービスの開発 ☐ （２） 既存事業のブラッシュアップにあたり、コミュニティビジネスの手法で取り組む、中山間・周辺地域の地域資源を活用した商品・サービスの開発 ○商品・サービスの具体的な内容 ・活用する地域資源（地域産品、地域の伝統文化や歴史、地域産業の担い手など） ・商品・サービス（基本性能、付加的性能、差別化の工夫、製造やサービスの方法等） ・顧客（どのような特徴をもつ顧客を対象とするか、そのボリューム等） ・価格（価格設定、価格の設定の根拠等） ・販路（販売エリア、販売場所、販売期間、供給にかかる時間、コスト等） ・宣伝（広告宣伝、販促ツール、パッケージデザイン、用途の提案等） ・生産、販売やサービス提供の体制（人員体制・採用・育成、原材料の仕入先、地域内企業との協業等） ・地域との協力関係（地域団体との連携、地域からの仕入れ、地域雇用、地域イベントとの連携等） ・事業に必要な資格、経験、許認可、届出（取得、習得、手続きの状況や見込み等） ・目標（地域に与える影響や価値・評価指標、商品・サービスを提供するにあたっての目標・評価指標） ・売上見込（自走化時点の売上見込と積算の根拠） ※図や数値なども用いながら説明をお願いします。	
8	事業内容 ○計画期間の事業スケジュール （活動内容、実施期間、実施場所、実施主体、事業費概算等） ○自走化時点の事業スケジュール（補助期間終了後、事業をどのように持続させていくか）	
9	計画期間内総事業費 収入 円 （うち 地域活力創出事業補助金 円） 支出（ソフト経費） 円 （うち 補助対象経費 円） ※収支予算書を作成、その収支計画に基づき記入をお願いします。	
10	事業計画の推進体制及び責任者連絡先 ○推進体制（体制図） ○責任者（住所・氏名・電話番号・e-mail）	

様式第3号（第8条，第9条関係）

収支予算書（変更収支予算書）

（収入）

（単位：円）

項目		予算額	説明（内訳等）
事業収入			
	売上の積算に基づき、		
	記入		
			補助対象経費（千円未満切り捨て）
			上限は45万円です。
補助金（ソフト経費）			
収入合計(A)			

（支出） 見積書など根拠資料と集計表を添付

（単位：円）

項目		予算額	説明（内訳等）
ソフト経費	<補助対象経費>		
	消耗品費 費目ごとに		
	委託料 集計し、記入		
	原材料費		
	謝金		
	印刷製本費		
	使用料及び賃借料		
	計(B)		
	<補助対象外経費>		
	消耗品費		
	原材料費		
	光熱水費		
	人件費		
	計(C)		
	ソフト経費計(B)+(C)		
収支(A)－((B)+(C))			

(注1)必要に応じて、記載欄を拡大すること。項目の主な内容(内訳)については別紙で添付することも可。

(注2)市補助金については、算出額から千円未満の端数を切り捨てて記入すること。

(注3)変更収支予算書の場合は、変更前の金額を上段に括弧書きし、変更後の金額を下段に記載すること。

(注4)見積書など根拠資料と費目ごとの集計表を添付すること。